

# 産業の育成と地域環境の整備を図る

## ◆産業建設常任委員会◆

### 農林水産業の振興



農業委員会費  
委員の報酬が主なものである。  
遊休農地解消対策として農地パトロールの実施、農地情報システムの統合について調査を行う。

### 農業振興費

製茶機械の導入事業や担い手育成総合支援協議会を設置する。

都市農村交流対策事業の川辺ふれあい農園は、104区画中74区画のオーナーが決定している。

### 茶業振興費

茶園面積拡大のため、20ヘクタールの新植・改植事業を進める。また、

国県の補助を受けられたい地区、7ヘクタールの防霜ファンの整備を行う。

### 土木総務費

南九州市クリーン公社が観光道路を中心に植樹帯の除草、法面の草刈りなどを行う。

クリーン公社の充実を図り、将来は市道全体の維持管理を行うよう要望する。

### 住環境の整備

一委員会からー  
地域活性化住宅は、児童数の少ない小学校において、児童数確保のために民間活力を導入し、住宅を確保するもので、現在川辺に16戸建設している。



クリーン公社による法面の草刈り

# 特別会計予算の審査から

## 企業会計

### 簡易水道事業

川辺と穎娃の簡易水道事業に係る経費で、工事請負費は、ヲヤシ平地区簡易水道改良事業及び県工事に伴う水道管移設工事などである。



4,000人の汚水を処理できる知覧中央浄化センター

委員長 内匠 秋夫

### 生活道路環境整備事業

10分の5以内の補助率で、集落内の道路舗装及び排水路の整備を行う。

### 河川総務費

河川愛護作業に伴う報償費（平方メートル当たり7円）と、市が管理する河川の寄州除去が主なものである。

一委員会からー  
民間業者が住宅を建設するため、初期投資がいらないことや固定資産税が入ってくることなど、有利な事業と考え、条件が整えば、今後必要な小学校区において、展開するよう要望する。

一委員会からー  
母貝から稚貝までの生産が確立されたのであれば、民間活力の導入による、実用化に向けた取り組みを望む。

一委員会からー  
民間業者が住宅を建設するため、初期投資がいらないことや固定資産税が入ってくることなど、有利な事業と考え、条件が整えば、今後必要な小学校区において、展開するよう要望する。



配食サービスで健康確認

### 一審査の中でー

石綿管の配管状況について説明を求めたところ、穎娃・川辺合わせて5、641メートルであるが、本年度の更新により、20年度末には4、643メートルになる見込みであるとのことであった。



4,000人の汚水を処理できる知覧中央浄化センター

### 簡易水道事業

石綿管の配管状況について説明を求めたところ、穎娃・川辺合わせて5、641メートルであるが、本年度の更新により、20年度末には4、643メートルになる見込みであるとのことであった。

一委員会からー  
農業集落排水事業 知覧で供用開始されており、利用戸数は1、315戸となっている。

川辺の水道事業に係る経費で、給水戸数1万1,131戸、年間総給水量279万395立方メートル、一日平均給水量7,645立方メートルが見込まれている。

### 公共下水道事業

川辺の水道事業に係る経費で、給水戸数1万1,131戸、年間総給水量279万395立方メートル、一日平均給水量7,645立方メートルが見

込まれている。

### 水道事業

川辺の水道事業に係る経費で、給水戸数1万1,131戸、年間総給水量279万395立方メートル、一日平均給水量7,645立方メートルが見込まれている。

川辺の水道事業に係る経費で、給水戸数1万1,131戸、年間総給水量279万395立方メートル、一日平均給水量7,645立方メートルが見

### 水道事業

川辺の水道事業に係る経費で、給水戸数1万1,131戸、年間総給水量279万395立方メートル、一日平均給水量7,645立方メートルが見

込まれている。

### 水道事業

川辺の水道事業に係る経費で、給水戸数1万1,131戸、年間総給水量279万395立方メートル、一日平均給水量7,645立方メートルが見

込まれている。